

議 会 広 報 特 別 委 員 会

日 時	令和 6年 6月13日 (木) 開会中	11時07分 開会 11時37分 閉会
場 所	相良庁舎 4階 第3会議室	
出席議員	(委員長) 8番 種茂和男	(副委員長) 3番 絹村智昭
	7番 松下定弘	6番 木村正利
	2番 谷口恵世	1番 石山和生
欠席議員		
法第105条出席		
事務局	書記 中田 綾	書記 八木裕介
説明員		

署名 _____ 議会広報特別委員長

開会の宣告

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

時間のほうがちょっと早いんですけど、今から広報特別委員会の会議を始めたいと思います。

2 事件 (1) 牧之原市議会だより「かけはし」第75号について

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

議題としては、市議会だよりの「かけはし」第75号についてですけど、まず最初に事務局のほうから説明をよろしくをお願いします。

○事務局書記（八木裕介君）

私のほうから、まず編集スケジュールということで、編集スケジュール（第75号）をお開きください。

では、まず第1回ということで本日なんですけど、編集スケジュールのほうと、あとページ構成のほうの検討をさせていただければと思います。

次になんですけど、6月18日、本会議の一般質問1日目のほうで、各議員に原稿の依頼をさせていただきまして、6月28日なんですけど、第2回の議会広報特別委員会を開かせていただきまして、ページ構成の最終決定とさせていただきまして。その日、同日なんですけど、総括的な質疑と、あと通告質疑の原稿の提出期限とさせていただいております。

次に、7月1日になるのですが、全ての原稿の提出期限になります。その後、事務局のほうで編集をさせていただきまして、7月8日なんですけど、第3回の広報特別委員会を開かせていただきまして、事務局でつくりました原稿を皆さんに確認していただければと思います。

その後、業者へ持込み等を行いまして、7月18日に第4回の特別委員会を開きまして、事務局で編集したワードと、あと業者のほうから来たグラ刷りの原稿を見ながら確認をしていただきます。

その後なんですけど、第5回の広報特別委員会を7月26日に開催させていただきまして、こちらも同様に、事務局でつくったデータと、あとグラ刷りを確認していただきます。

最後になりますけど、8月5日に正副委員長のほうで最終の確認をさせていただきまして、8月15日に発行させていただく予定になります。

以上でスケジュールについての説明になります。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

このスケジュールで、何かご質問等ありますか。ないですか。

[「なし」と言う者あり]

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

では、ページ割りについて、次に説明のほうをお願いいたします。

○事務局書記（八木裕介君）

では、ページ割りについて説明をさせていただきますので、タブレットに保存してあり

ますページ割り（第75号）のほうをお開きください。

こちらが一番右の列が、第75号のページの構成案になります。左の4列につきましては、直近の4号分を掲載させていただいております。今回の第75号につきましては、前回の6月定例会である第71号を参考につくらせていただいております。

上から順に説明をさせていただきますと、まず1ページ目、表紙となる部分につきましては、萩間保育園のほうに表紙を依頼させていただきます。

2ページ目、3ページ目につきましては、6月定例会の報告を掲載させていただくのですが、二つの議案について通告質疑がありまして、1件の総括質疑がありましたので、そちらも含ませていただきます。

4ページになりまして、補正予算の関係になりまして、大体1ページとなりますので、5件ほどの質問を想定しております。

定例ですと、5月の臨時会が開催されたときに、1ページ分の確保をしているんですが、今回、5月臨時会において質疑がなかったため、ページの確保は行わないこととしまして、議案の一覧に、5月臨時会分ということで含ませていただければと思います。

5ページになりまして、議案の一覧を載せます。

6ページから14ページにつきましては、一般質問になります。9名の議員のほうから一般質問の通告書が提出されましたので、各議員に原稿を提出していただく予定です。

15ページから19ページ、20ページの裏面については今、ページが開いているため、こちらは特集記事になるかと思っておりますので、こちらは委員の皆さんに、次回の第2回の議会広報特別委員会の際に案を考えてきていただいて、ここの4ページ半を埋められればと思います。参考としまして、15ページなんですけど、14ページに一般質問のページが入るため、15ページは片面になります。16ページ、17ページと、あと18ページ、19ページにつきましては、見開きでも片面ずつでもできるというような形になります。

最後に20ページになりますが、今回編集後記につきましては松下委員のほうにお願いをさせていただければと思います。

あとなんですけど、第107回の東海市議会議長会の定期総会と、あと第100回の全国市議会議長会定期総会におきまして、村田議長と植田議員のほうが勤続10年ということで表彰されましたので、入れさせていただければと思います。議会だより第71号のほうで同様に、大石和央議員が表彰されたときに同様の記事も出しているのでも、そちらも参考にさせていただければと思います。

あと、裏面の上部部分になりますが、そちらも案のほうを考えてきていただければと思います。

以上ページ構成の説明は終わりです。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

ありがとうございました。

参考例として、15ページから19ページ、この案としては事務局のほうも、文教厚生委員会の市民会議とか、議会改革特別委員会勉強会、議会におけるDX5月14日とか、あとは議会広報特別委員会視察研修が5月16日の内容、全議員視察研修、中部電力の5月31日、あと総務建設委員会勉強会の県茶業の6月10日、あと総務視察研修の7月1日から3日のところで、そこら辺の15ページから19ページの内容の埋める資料等にしたいと思っております。

ます。この辺はまた事務局のほうと聞きながら進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

[「異議なし」と言う者あり]

2 事件 (2) 牧之原市議会だより「かけはし」第77号以降の表紙について

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

あと、かけはしの第77号以降ですけど、それだと写真が切れてくるので、その対応等、撮影か新たに市民とか、まだやっていない私立保育園と、そういうところから載せるのか。谷口委員。

○（谷口恵世君）

恐らく前回の委員会のときに、CSの活動を周知させるということで、各中学校、小学校のコミュニティ・スクールの活動の写真を表紙にしたらいかなという提案をして、それでいいんじゃないかというお話もございましたので、そういう形で進めていけばいいのかな。特に子供たちと地域のCSディレクターと地域の人たちも写真に載るとしますので、周知にもなると思いますし、いいかと思います。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

それは教育委員会のほうの管轄になるとしますので、またそういった地域の各学校、CSディレクターの活動の様子ですとか、そういったものをかけはしに載せたいけど、協力はしてもらえるかどうかということを確認を取って、順番ごとに決めて、写真を提供してもらわないといかん。

○（谷口恵世君）

この間のCSDの市民会議のときに、CSDのその話の詳細を出してくれたのが榛原中学校のCSDの元校長先生をされていた伊故海さんという方なんですけど、その方がやっぱり周知を議会のほうでももっとしてほしいというご意見があった話ですので、恐らくCSDの方はそういうことを皆さんやりたいと思っていますので、そんな形で。コミュニティ・スクールの内容を載せてもらえればいいかなと思います。

○（木村正利君）

今に関連した第77号以降のところの中で、この前も船橋に行ったときに感動したのは、議会広報特別委員会のほうで結構直接いろんなところの取材、取材という名目でいろんなところへ単独に行ける、議会としてじゃなくて広報として行けるという中で、できればそれを委員長のほうで出していただいて、写真、取材イコール、例えば地域で今コミュニティ・スクールの関係もそうなんですけど、例えば近所でゴミ拾いをやっている人がいるよとか、そういう情報があったら、議会広報特別委員会として写真を撮って、同意を得た中で市民参加という形のテーマとしてのところを表紙に入れていくような形も、それはできるかなと思うので、広報委員として別に学校へ取材に行くよという形になると、いろんなそれぞれの活動の範囲が広がるかなと思うんですが、ちょっと大きいあれになっちゃうかも分からない。取材ということで、この前の船橋のやり方を提案していったら、写真を撮るとかね。広報委員ってせつかくこれだけいらっしゃるので、地域のいいことを市民参加の目的でということの中で、表紙をテーマにした中で、そういう新しい取組って面白いん

じゃないかなと感じたんですが、そこら辺皆さんのご意見をいただければ。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

谷口委員。

○（谷口恵世君）

取材もいいかと思うんですけど、まずはコミュニティ・スクールの、多分子供もたくさん載るし、地域の大人もたくさん載るので、たくさん載るものを表紙に、しかも向こうでやはりこの写真でいいよというものを提出してもらったほうがいいかなというのと、もしちょっと活動に対してこんな感じでやっていますみたいな紹介を裏面のところに、例えば欄が空いているスペースがあれば、そこに少し載せてもらって、今回のCSは榛原中学校の何とかですとか、どういうことをやっていますみたいなものを、少しまたコメントみたいな吹き出しみたいな形でもいいんですけど、そういう形で少し紹介するということがもしできれば、それでも結構新しくなるかなとは思いますが。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

事務局。

○事務局書記（八木裕介君）

まず委員会として今後の表紙は学校教育課に打診をすることにはなると思うんですが、教育委員会が大丈夫ということでしたら、CSの活動内容ということで、表紙は大丈夫ですか。それともまずは、案を出す段階になるのでしょうか。そちらを聞かせていただければと思います。

○（石山和生君）

今決定することなんですか、これ。そもそも。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

ある程度決めておきたいねということ。

○（石山和生君）

僕はいいと思っているんですけど、今CSという案が出て、それはいいと思っているんですけど、今そっちのほうに行くみたいな雰囲気だったので、今日この場で決めるということであれば、それはそれでいいんですけど、さっきの話的には、今後考えていかないといけないですねという場だと思ったので。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

ある程度、今第75号なので、第76号をやったら今のうちに頼んでおかないと、来月になったらまた大変になってしまうものですから、ある程度方向性だけははっきりしておきたいなど。今、CSで頼める方向性であるなら、それでCSディレクターが学校に流してくれば、我々で行くことがなく、木村委員が言われたように、何か特別地域でどうだこうだというのは、取材の中の裏面のほうの空いたスペースに、取材してきたなら、それを載せていいかというのは、議長のほうにもこういった広報特別委員会で取材に行くので、いいかというような許可を一応取らないといけないものですから、そういった活動の方向性をつくるかどうかということ。

石山委員。

○（石山和生君）

CSはすごくいいとっていて、やるべきだと思うんですけど、もし、どんどん進め

る前に、どのくらいの期間、例えば幼稚園だったら何号までを頼むとか。

○（谷口恵世君）

中学校が榛原中学校と、相良中学校で、あとは各種学校で、全部で12。

○（石山和生君）

12号は回せるんだったら、僕たちの期で一旦終わるということなら、CSでいこうという話にはなりませんし、僕よく分かっていなかったのも、もし今日そこまで結構深く議論したほうがいいのかどうかというの、まず確認したいんですけど。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

決めておく、それでいくというなら、即対応してもらって、もう次の次からなので。

○（石山和生君）

分かりました。ここである程度決めるということですか。じゃあ、どんどん質問したいことは、この場で深めていったほうがいいということですね。そういうことですよね。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

事務局。

○事務局書記（八木裕介君）

今なんですけど、公立の保育園、幼稚園ということで、今まで取材をさせていただきましたけど、私立の保育園、こども園等がありますけれども、そちらは取り扱わないということで、CSに移行となるのですが。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

CSをやるなら、あと二つを入れる。取りあえず間に合って、CSで間に合うなら、CSのほうで、私立はやめるという。

事務局。

○事務局書記（八木裕介君）

最終的な決定としまして、まずは私立の幼稚園はやめるということによろしいでしょうか。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

石山委員。

○（石山和生君）

そうしたらもうその方向で僕もいいと思うんですけど、CSに頼む場合のフォーマットじゃないですけど、例えば今は横だけど、縦写真じゃないといけない。フルにするのか僕たちのほうで。2巻後には、前言ったような。フルにするんだったら、上のほうはかけはしとかと書いてあるから、そのスペースは顔とか入れないようにとか、多分そういうのはちゃんとしておかないと、後で面倒くさいことになるので。そういう細かいことは今後でもいいとして、取りあえず。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

どういう方向性で出したいよというのだけは、次回広報の集まるときまである程度、事務局に出してやらないと、並行してお願いしないとできないと思うので。

○（石山和生君）

取りあえず、やってもらえるかを打診するという話ですね。やってもらえるとなれば、細かい話はまた後で決めましょうという話。ならオーケーです。

○事務局書記（八木裕介君）

では、そのような形で、先ほど教育委員会のほうに確認するとお伝えさせていただいたんですが、CSの関係は校長会ということで、校長会のほうに確認をさせていただきます。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

私のほうは、今、木村委員が言われたように、議長にそういった取材に関して、地域のあれをいのくというのは口頭でいいのか、文書で出すのか。

事務局。

○事務局書記（中田 綾君）

表紙に関してなんですけれども、変えるということであれば、委員長から全協のほうで報告をいただければ、文書での議長への提出等は特にはいらんんじゃないかなとは思いますが。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

分かりました。

○（木村正利君）

くどいようですが、一応船橋市議会でこういう形の取材とあって、広報が結構権限を持って動いているというところが私はよかったなと思っているので、まず、私はそう思っているんですが、皆さんがそういう形で、今後の中で個々の議員が、議会広報特別委員会として、いろいろなところへ動きやすい形というのはいかがかなというのは、まず聞いてからにしたほうが。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

谷口委員。

○（谷口恵世君）

船橋市議会は、恐らく取材というよりも、各高校とかと、議会報告会じゃないけど、議員さんと生徒とかがワークショップをやったりとか、そういうことをされていたと私は説明を受けたと思うので、今、実は文教厚生委員会のほうで、榛原高校の地域リーダー育成プロジェクトと後期辺りに少しそういう高校生と文教厚生委員会で、前回、相良高校とやったような形を取ろうかなというのを今考えていまして、その中で、榛原高校って地域探究の授業と地域リーダー育成プロジェクトというのと二つあるんですけど、私はそれ両方文教じゃなくて、それを船橋みたいに広報の委員会として、榛原高校の探究の授業のほうに高校生と話ができればいいかなと少し思ったので、今の話だと、そういうふうに行けたら、取材というよりもちゃんと委員会として意見を求められるというか、議会報告じゃないですけど。市民会議になるのか。市民会議にもならないけど、高校生と一緒にやるという場を持てたらいいかなとは思いますが、もしその辺はまた委員長と副委員長で、主催している方たちが、Clipさんというファシリテーターの方たちと高校生と何かやっているの、その辺り、またお知らせしますので、そういうのもいいかなと今、木村委員の意見を受けて思いました。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

毎回毎回じゃなくて、なかなか議員のほうでその都度取材に本当に行ければいいんですけど、大変な負担になるのか、負担にならないようにちょっとやってみないと分からないものですから。

○（木村正利君）

今、牧之原市議会は要は総務建設と文教だけになって、個々にやっぱり動きづらいところがあるので、あえて議会広報特別委員会として、そういった活動ができて、全員が、やれる方と、当然やられない方はあるんですけど、そのの枠を広げるといのは私は意見で言っているんで、全部で手分けしてというのじゃなくても、ここがフラットな状態で、まずはじめの一步ができる状態を築きたいなという意見で今、話をさせていただいているので、それぞれ個々のご意見があると思うので、動き出すと、なかなか負担になってしまうとなったら、やめましようとかというのは。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

ページ割りに今言われて、そういったスペース面で空いていけば、話の途中で取材に行き埋めるとか、そういったことも考えるような形になるのか。今ページ割りの中で最初に。

○（石山和生君）

まず表紙の話と、その活動の話は別途で考えたらやっぱりいいなと思うので、表紙は表紙は表紙でいいんじゃないかという話と、今、木村委員がおっしゃっているようなことは、取材というのとはよく分からないですけど、さっき谷口委員が言っていたような、意見交換会みたいなのを広報としてやるという動きは別に我々がやる気があればやったらいいんじゃないかと普通に思いますけど。

ただ、取材に行くというのはちょっとまだ、あまりイメージが湧かない。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

取材というか、何か取り上げて、簡単な解釈で言われているので、こういうボランティアをやっているよとか、そういう地域のあれを密着しているのを。

○（石山和生君）

広報まきのはらの裏面の子供が今映っていて、こんなことをしていますとかあってあるけど、あれの頑張っている市民バージョンみたいな、そういう感じということですか。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

そんなイメージだと思いますので、またそれは、確実に取っていくというわけじゃなくて、始まる前の編集というか、ページ割りをしているとき、あまりそうで、こういったところをもしやるなら埋め込みますよということでやっていく考え方でいいんじゃないかと思うんですけど、そんな具合ですよ、木村委員。

○（木村正利君）

言い方はちょっとうにやうにやと言ってしまったんですけど、取材というよりも、市民の声のところを議会広報として、谷口委員とか石山委員がおっしゃっているように、意見交換会を議会広報特別委員会として、取材という言い方はごめんなさい、そういうものをやれるようにしていくと、いろいろな幅が広がっていくかなと思ったものですから。

そんな意見の中で。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

ということで、よろしいですか。

それと、前回、石山委員のほうから編集ソフトの件であったんですけど、それについて事務局のほうから。

○事務局書記（八木裕介君）

前回の第5回のときの委員会のほうで、石山委員のほうで、事務局が原稿を編集しているソフトがワードで、レイヤーや配置等の関係もあって使いづらいということで、見直しのほうを図ってみたのですが、候補としましてAdobeがうちの市のほうの広報まきのはらでも使っているのでちょっと検討してみたのですが、現在事務局で使っているパソコン自体のスペックが高くないので、そちらのほうに入れることができないということと、もし入れるのであれば新しくパソコンを購入してインターネットに通じるパソコンが必要となってくるので、一度こちらは見送りをさせていただきます。ただ、ワードで使いづらいということだったら、こちらも検討させていただいて、パワポであればレイヤーや配置の関係も容易なものになりますので、今後はパワポへの移行を今回から試していこうかなと考えております。

また、Adobeを導入する際には、Adobeは結構デザイン性の高いソフトになっているので、またレイアウトの大きな変更等があったときに、それに合わせて導入もまた考えていこうかなという次第でございますので、今後はパワポのほうに移行させていただければと思います。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

石山委員。

○（石山和生君）

いいと思います。レイヤーとかが使えば。僕がちょっと懸念しているのは、変えたくもないけど変えるんだったら別に変えなくてもいいかなと思ってるので、本当にパワポにすることで楽になると思えばパワポに変えたらいいと思いますし、いやそれもちょうと大変だと、変えるということが大変だということであれば、別に僕がやるわけじゃないので、ワードでやってもらっても全然それは構わないので、好きなほうにしてくださいということだけ、お伝えしておきます。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

そんな具合でよろしいですね。

3 その他

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

ほかに何か皆さんのほうで、ご意見等はございますか。

○事務局書記（八木裕介君）

正直、僕の感想になってしまうのですが、正直ワードはちょっと取り扱いにくいものではあるので、僕としてはパワポがいいかなとは思っているのですが、小山のほうにデータを出す関係で、小山がパワポに対応しているかどうかというものもありますので、小山と話しながらにはなるんですが、そのような形です。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

ということで。

石山委員。

○（石山和生君）

無理やりというじゃなくて、それならよかったです。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

ほかにご意見は。

木村委員。

○（木村正利君）

何度もあれですけど、せっかく船橋市議会に行ったときに、今後の方向性的に、例えば、かけはしを配るのに、障害のある方たちにお願ひしたりというのも勉強してきたというのは大事なことかなど。今は自治会へばさっと持って行って、自治会からやっているところもあるしという中で、ある程度仕事をつくるじゃないんですけど、そういう配り方というのも、僕はちょっと興味があったんですが、そこら辺について皆さんいかがでしょうか。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

石山委員。

○（石山和生君）

僕個人の意見は、まだ自治会があるうちは、やっぱり自治会を使うのがベストかなというふうに。ただ、そのうち必ず自治会で配れなくなるときが来ると思っているの、そのときにはしっかりと、今言ったような、船橋市がやっているような施策というのがあるぞということをちゃんとアピールしていくところなんじゃないか。今無料でできているものを、わざわざお金を払ってやるというのは、なかなかちょっと考えづらいかなというの、これは個人的な意見です。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

今、石山委員が言われたように、昔はそうやっていて、あまりにもお金がかかるということで、自治会のほうに多少お金を出してもいいからということで予算をあれして、自治会に委託するようになったというのがこの経緯で、改めてまた元に戻すというと、市のほうもお金がない部分もかなり出てくるんじゃないかと思っておりますので。

○（石山和生君）

ただ、いずれ多分機能しなくなるので、そのときにはちゃんと学んできたことを言えればいいんじゃないですかね。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

とにかく、本当はもっと自治会にお金をやらないといけないのを、あれ1部10円ぐらいするものだから。

そんな具合で。

○（松下定弘君）

今さらなんですけど、ちょっとお聞きしたいんですが、私立の先ほど幼稚園とか、保育園さんの、次はうちだみたいな期待してしまっている部分ってあるんですかね。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

事務局。

○事務局書記（八木裕介君）

一応公立のほうには依頼文という通知でお送りして掲載をさせていただいている中で、私立のほうには特には通知は出してはいないもので、ただ、見る人によっては、保育園が並んでいるので、もしかしたら私立もあるというような考え方の方もいらっしゃると思いますが、学校には取りあえず依頼の通知は送っていないです。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

よろしいですか。

では、以上で本日の会議を終わりたいと思います。ありがとうございました。

〔午前 11時37分 閉会〕